## 気象レーダー作業班の運営方針(案)について

## 1 作業班の構成

- (1) 作業班は、陸上無線通信委員会(以下「委員会」という。) 主査から指 名された者により構成される。
- (2) 作業班に主任を置き、委員会主査から指名された者がこれに当たる。
- (3) 作業班に主任代理を置くことができ、主任が指名する者がこれに当たる。

### 2 作業班の運営

- (1) 主任は、作業班の調査及び議事を掌握する。
- (2) 主任代理は、主任不在の時、その職務を代行する。
- (3) 作業班は、主任が招集する。主任は、作業班を招集する際は、構成員にあらかじめ日時、場所及び議題を通知する。
- (4) 主任は、構成員に調査の協力を求めることができる。
- (5) 主任は、必要があると認めるときは、作業班に、必要と認める者の出席を求め、意見を述べさせ又は説明させることができる。
- (6) その他、作業班の運営については、主任が定めるところによる。

#### 3 会議及び資料の公開

会議及び資料は、次の場合を除いて原則公開する。

- (1) 会議及び資料を公開することにより、当事者又は第三者の権利、利益及び公共の利益を害するおそれがある場合
- (2) その他、主任が非公開とすることを必要と認めた場合

### 4 サブ・ワーキング・グループの構成及び運営

- (1) 主任は、作業班で審議する事項について、特に専門的な審議を行う必要があると認めるときは、サブ・ワーキング・グループを置くことができる。
- (2) サブ・ワーキング・グループは、主任から指名された者により構成される。
- (3) サブ・ワーキング・グループにリーダーを置き、主任から指名された者 がこれに当たる。
- (4) その他、サブ・ワーキング・グループの運営はリーダーが定める。

### 5 事務局

事務局は、総合通信基盤局電波部基幹・衛星移動通信課基幹通信室とする。

# 情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会 気象レーダー作業班 構成員

(敬称略:主任以外は五十音順)

	(収价略:土仕以外は五十日順)		
氏 名	所属		
主任 川西 哲也	早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 教授		
主任代理	大阪大学 工学研究科 教授		
伊藤 武志	海上保安庁		
D 112 - 24.0	総務部情報通信課システム整備室 専門官		
今井 克之	住友電設株式会社 通信システム事業部 事業企画部 主幹		
岡島 健	日本無線株式会社 ソリューション事業部 水インフラ技術部 水事業推進グループ		
	三菱電機株式会社		
	通信機製作所インフラ情報システム部監視管制システム課 専任		
梶原 佑介	気象庁		
加藤 敦史	株式会社 JAL エンジニアリング 技術部 電装技術グループ		
	国土交通省 航空局		
川村 和也	交通管制部 管制技術課 航行支援技術高度化企画室 管制技術調査官		
黒澤 稔	国土交通省 大臣官房技術調査課 電気通信室 課長補佐		
小西 康友	日本アンテナ株式会社 開発設計部 マネージャー		
清水 昭典	古野電気株式会社 SSBU ソリューション開発課 課長		
	マスプロ電工株式会社		
鈴木 格 	開発部 係長		
田中 祥次	株式会社放送衛星システム 総合企画室 専任部長		
鷹取 泰司	(一社)電波産業会 無線 LAN 開発部会 副委員長		
	(一社)全国船舶無線協会		
田北順二	水洋会部会 事務局長		
田島 慶一	スカパーJSAT 株式会社 メディア技術部門 メディア技術本部 サービス技術部 上席専任主幹		
手柴 充博	株式会社ウェザーニューズ		
	レーダープロジェクトリーダー 全日本空輸株式会社		
東野学	整備センター 技術部 技術企画チーム マネジャー		
長坂 正史	NHK放送技術研究所 伝送システム研究部 研究プロデューサー		
橋田 芳男	東芝インフラシステムズ株式会社		
	小向事業所フェロー		
花土 弘	(国研)情報通信研究機構 電磁波研究所 電磁波伝搬研究センター リモートセンシング 研究室 研究マネージ・ャー		
l			

藤高 丞士	サン電子株式会社 埼玉事業所 開発本部 開発部 受信機器開発課主務	
松下 智昭	DXアンテナ株式会社 技術第2部 技術規格チーム チームリーダー	
増田 有俊	(一財)日本気象協会 技術戦略室 室長	
安江 仁	電気事業連合会 情報通信部 副部長	
吉野 哲也	防衛省 整備計画局 情報通信課 電磁波政策室防衛部員	
米本 成人	(国研)海上·港湾·航空技術研究所 電子航法研究所 上席研究員	
渡辺 知尚	(国研)宇宙航空研究開発機構 周波数管理室 室長	

(29名)

# 「次世代高機能気象レーダー等の導入に関する技術的条件等の検討」の 検討スケジュール(案)

年月	分科会•委員会	作業班
令和3年	委員会(12/14~メール審議)	
12月	• 検討開始報告	
令和4年	分科会 (1/25)	
1月	• 検討開始報告	
4月~		作業班 (4/22)
12月中旬		(3回程度の開催を予定)
12月下旬	委員会	
	・作業班報告	
	・委員会報告案のパブコメ	
令和5年	パブコメ開始	
1月	(意見募集期間 2月上旬まで)	
令和5年	委員会	
2月	・パブコメ結果の報告	
3月	分科会	
	・一部答申(予定)	

### サブ・ワーキング・グループ構成

・5GHz 帯については作業班内で検討を行い、X 帯についてサブ・ワーキング・グループ を設置する。

# 気象レーダー作業班

### 【検討事項】

次世代高機能気象レーダー等の導入に関する技術的条件の検討

- ・次世代高機能気象レーダーの無線諸元
- ・他の無線システムとの周波数共用条件の検討 等

### 【構成員】

・気象レーダー関係者(レーダー製造業者、気象庁、国交省等)

→ 作業班で検討

・既存無線局免許人 (5GHz帯:無線LAN) 作(9.7GHz帯:沿岸監視レーダー、波高レーダー

衛星通信システム)

(9.4GHz帯:航空機搭載気象レーダー、船舶用レーダー)

# X帯気象レーダー

### 【検討対象】

- •9.7GHz帯気象レーダー
- •9.4GHz帯気象レーダー